

最後まで全力をつくそう

今まで頑張ってきたことを大切にして、最後の結果が出るまで気力を集中させ、途中で妥協しないでください。特に、国公立後期試験まであきらめないことが大切です。

また、私立大に合格して、国公立大後期の受験をどうしようか悩んでいる人はいませんか。今すぐ決めずに、国公立大の結果が出てから、よく考えて進路を選択した方がよいと思います。

『個人別受験状況一覧』の確認について

＜確認内容＞※記入には、すべて『赤のボールペン』を使用してください。

- ①大学学部学科コード、大学名、学部名、学科名、日程、方式に間違い・変更がないか
 - ・間違いがある場合は、変更になったコード、学部名、学科名を二重線で消し、正しい学部名、学科名を下の余白に書いてください。コードは10月記述のコード表を使ってください。
 - ・コードがない場合、コードのある方式で代用してください。
 - ・出願していない場合は、大学名、学部名、学科名、コードは、二重線で消してください。
 - ・出願したが受験していない場合は、合否欄に「－」を記入してください。
- ②合否の欄について
 - ・一般入試では 『合格は○、不合格は×、(出願したが)受験せずは－』
推薦入試では 『合格は推○、不合格は推×』
を確認・記入してください。まだ、結果のでていないところは空欄です。
 - ・補欠の人は、補欠と記入し、合否が確定したら、必ず担任の先生に連絡してください。
(補欠で合格→補欠と記入の横に○ 補欠繰り上がりなし→補欠と記入の横に×)
- ③入学の欄について、
 - ・現時点で 『入学が決まっている場合は◎』を記入してください。
- ④追加受験のある人は、赤で追加のコード、大学名、学部名、学科名、方式を記入してください。

★受験報告書★

受験した学校の報告書を書いて、本日中午に担任の先生に提出してください。明日以降の受験については3月14日、15日に提出してください。また、一般入試で面接や小論文が課された場合は、面接の形態・質問事項、小論文はテーマや語数などできる限り詳細に記入してください。

後輩達にとって貴重な資料となりますので
よろしくお願いします。

★合格連絡を担当へ★

今後の合格情報も、わかり次第担任の先生に連絡してください。また、繰り上げ合格などの連絡も忘れずに。

連絡のあったものについては、3月15日の卒業式当日に会議室廊下に掲示します。(卒業式以降に連絡があったものについては、3月29日以降に掲示します。)

★赤本の返却および寄贈について★

まだ返却されていない『赤本』があります。心当たりの人は大至急返却してください。

また、進路実現できた人は、『赤本』の寄贈に協力してください。進路室までお願いします。

受験は未来への切符・最後の1秒まで努力の跡を残そう！

受験も終盤戦に入っていますが、国公立大学受験者はこれから後期試験になります。私大の3月入試を受ける人もいます。直前での注意を、もう一度確認しておきます。キーワードは「平常心」「切り替え」「くよくよしない」。



1 未来の楽しみに意識を向ける

ときには受験後の楽しみに意識を向けて、合格したらやってみたいことなどを数え上げてみるのもいいのではないのでしょうか。

2 過去の成功体験やうまくいった場面を思い出す

過去の試験でうまくいった場面、合格した試験のことや苦手科目を克服していい点数を取った時のことを思い出し、「あの時はできた」「この時もできた」と数え上げてみましょう。家族に、その成功体験の時の様子を聞いてみるのもいいかもしれません。

3 今できていることに目を向ける

時間があるならできない部分を見つけて弱点を克服する勉強も大切ですが、直前期にそれをやると焦ったり、自信を失って落ち込んだりしてしまいます。新しい参考書などには手を出さず、使い古した参考書を読みながら、「これも知っている。あれも知っている……」と事実の確認を行って、「自分はこれだけやったんだ」と過去の頑張りを思い出し、「これならいける！」と自信を持ちましょう。

もう一年受験勉強を続けようと思う君へ

これから1年間頑張ることになりますが、その前に、『なぜ浪人するのか？』を自分でよく分析してください。人間はそんなに簡単に変わりません。浪人すれば大学へ入れるというものでもありません。現状の学力を維持するだけで精いっぱいの人もあります。この1年間をしっかりと反省し、決意を新たに、目標を立ててスタートしてください。自分から学ぶ姿勢がないと、浪人しても伸びません。逆に、基礎力と学習法がしっかりしている人は、浪人してきちんと成果をあげることができます。8月までが勝負です。1学期にペースをつかむように心がけましょう。また、周りの状況を把握しておくことや生活リズムの維持も重要ですので、「自宅浪人」をすることは極力避けてください。

☆☆☆ 予備校を選ぶ時の注意 ☆☆☆

★入学案内は、学習室前の廊下の机上にあります。

1. 自分に合った予備校を選べ……………★大手は生徒数も選択コースも多く活気がある。

★中小は少人数制で親身の指導。

などそれぞれに特長がある。体験授業などを受けて、どのような授業をやるのか調べたり、先輩などから直接聞いたりするのもよい。（本校・大宮校などの選択等についても同様）

2. 自分のレベルに合ったクラスを選べ……………低いレベルで満足していても実力はつかない。高すぎてもついていけない。クラスによって生徒の雰囲気も違う。どのレベルの大学を目指すのかも重要。

3. 予備校ごとの指導の違い

駿台予備校→50分授業

座席指定制

クラス担任制

説明会：事前予約制

河合塾 →90分授業

自由座席制

クラス担任制

説明会：事前予約制

※入学案内は、学習室前の廊下にあります。必要に応じて、持って行ってください。

予備校の『推薦書』について

入学に際して、『推薦書』が必要な場合は、『推薦書』を担当の先生(不在の場合は、3学年の先生)に記入してもらってください。各コースによって、推薦基準が異なりますので、担任に相談してください。

入学手続き後大学に合格し、入学を取り消す場合の学費返還制度はさまざまですので注意してください。